

教育施設

- ・大阪府立吹田東高等学校(校舎棟)
- ・大阪府立成城高等学校(校舎棟)
- ・大阪府立視覚支援学校
- ・大阪府立貝塚高等学校(本館棟)
- ・大阪府立中河内・南河内地域支援学校(仮称)
- ・大阪府立北河内地域支援学校(仮称)及び大阪府立北河内地域高等支援学校(仮称)
- ・大阪府立泉北・泉南地域支援学校(仮称)及び大阪府立泉北・泉南地域高等支援学校(仮称)
- ・大阪府立豊能・三島地域支援学校(仮称)及び大阪府立豊能・三島地域高等支援学校(仮称)
- ・大阪府立大学工学研究科物質系新学舎(仮称)



■ 所在地	吹田市青葉丘南
■ 敷地面積	32,421平方メートル
■ 建築面積	3,243平方メートル
■ 延床面積	10,865平方メートル
■ 建物概要	校舎棟 鉄筋コンクリート造 地上4階建
■ 工事期間	平成29年11月から令和元年7月
■ 設 計	株式会社大建設計
■ 施 工	コーナン・富国特定建設工事共同企業体
■ 請負金額	2,140,000千円

■ 学習環境を向上させる配置計画

- ・騒音源となる東側道路とグラウンドから離して普通教室を配置し、静かな学習環境を実現する。
- 安全で機能的な外部動線の確保
 - ・校舎南側に駐車場をまとめて計画することで、歩車分離を明確にする。
 - ・校舎の主出入口を西側に設け、西側通用門から最短ルートでアクセスでき、東側にも玄関を設けることで、東側正門からもアクセスしやすい計画とする。
- 明るく快適な生活・学習空間を創出
 - ・南側に面して普通教室をすべて集約させることで、日照時間が最大となるとともに、学年毎の一体感も確保する。
 - ・中庭や吹抜から自然の光と風を取り入れ、明るく快適な共有空間を確保する。
 - ・学習効率を向上させる特別教室の配置
 - ・階毎に特別教室を明確にゾーニングする。
 - ・音楽室は普通教室からの離隔距離を確保する。
 - ・見晴らしのよい最上階に芸術系特別教室群を設け、創作意欲を向上させる。



- 所在地 大阪市城東区諏訪三丁目
- 敷地面積 22,315平方メートル
- 建築面積 1,603平方メートル
- 延床面積 4,416平方メートル
- 建物階数 校舎棟 鉄筋コンクリート造
地上3階建
- 工事期間 平成30年3月から令和元年6月
- 設計 株式会社浦野設計
- 施工 株式会社旭工建
- 請負金額 985,000千円

基本方針

- 学びに適した室配置とバリアフリー経路の構築
- 発想を刺激する多様性のある空間と自然要素の導入
- 建替に際しての安全で効率的な手順と設備インフラの設置

<安全性>

- ・新校舎棟と既存校舎は、全体として利用しやすく安全な計画とするため、1階及び2階において行き止まりのない回遊動線を確保する。
- ・廊下は見通しがよく安全な直線ルートとし視線の抜けを作る。
- ・建物間のレベル差は渡廊下のスロープで解消することとし、バリアフリー化をめざす。

<利便性>

- ・北東角の新設階段にはエレベーターを近接させ、開放的で明るい雰囲気の出抜階段とする。



- 所在地 大阪市住吉区山之内一丁目
- 敷地面積 15,646 平方メートル
- 建築面積 校舎棟 2,920 平方メートル
寄宿舎棟 322 平方メートル
その他 37平方メートル
- 延床面積 校舎棟 9,468 平方メートル
寄宿舎棟 859 平方メートル
その他 37平方メートル
- 構造階数 校舎棟 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
地上5階建
寄宿舎棟 鉄筋コンクリート造 地上5階建
その他 鉄骨造 平屋建
- 工事期間 平成23年10月から平成27年10月
- 設計 株式会社久米設計
- 施工 株式会社鴻池組
- 請負金額 1,653,750千円

視覚支援学校は、幼児から成人まで目が見えにくい人、目が見えない人、または将来目が見えにくくなる可能性のある人に対して、視覚障がい教育の専門性をもって教育をしています。一人ひとりの障がいに応じ、幼稚部から高等部までの一貫した教育のもと、生活自立・社会自立をめざしています。

専攻科の保健理療科、理療科、理学療法科、柔道整復科では、国家資格を獲得し医療分野での職業自立をめざしています。



- 所在地 貝塚市畠中一丁目
- 敷地面積 38,303平方メートル
- 建築面積 618平方メートル
- 床面積 1,800平方メートル
- 構造階数 鉄筋コンクリート造
地上4階建塔屋1階
- 工事期間 平成26年2月から平成27年4月
- 設計 株式会社INA新建築研究所
- 施工 株式会社アフェクションワーク
- 請負金額 320,800千円

本計画は、効率的な土地利用に配慮し、施設の使いやすさや安全性環境に配慮し、やさしさや親しみのある増築棟の既存適及を受けるため、既存校舎の現状態を十分に把握し、既存建物が建築基準関係規定に適合するような改修計画とした。
基本的には「既存本館棟と同じ室用途、面積、同じ仕様での立替え」が方針となる。



- 所在地 羽曳野市西浦二丁目
- 敷地面積 31,315平方メートル
- 建築面積 7,197平方メートル(増築含む)
- 延床面積 17,945平方メートル(増築含む)
- 構造階数
 - 既存校舎 鉄筋コンクリート造 地上4階建
 - 既存体育館 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
地上3階建
 - 増築小学部棟 鉄筋コンクリート造 地上2階建
 - 渡り廊下ほか 鉄骨造
- 工事期間 平成25年12月から平成27年2月
- 設 計 浦辺設計・新日本設備計画設計共同企業体
- 施 工 株式会社NIPPO
- 請負金額 1,549,800千円

敷地は河内平野にあって、西方向には百舌鳥・古市古墳群が展開する歴史的な地区にあり、地形・景観的には西方向に羽曳野丘陵がせまり、東側に二上山を望むことができます。

敷地東側に大和川流域の支流の大乗川が流れ、付近は農地の宅地開発が進行しているものの全体としては河内の田舎の風情を残しています。

本計画は閉校となった高等学校の校舎を一部増築によって支援学校として再生させる事を目的としているが、立地の特性(コンテキスト)を読み、この支援学校全体に河内平野の歴史・文化・景観に根づいた集落的な風情をもたせる事を意図しました。

既存校舎、体育館と増築校舎を口の字型回廊でつなぎ、中庭を中心に屋外遊具施設や、学習農園などの屋外空間を合理的・機能的な配置にする事で、全体が有機的につながる活々とした学習空間を創造しています。



■ 所在地	枚方市村野西町
■ 敷地面積	21,326平方メートル
■ 建築面積	6,590平方メートル
■ 床面積	3,077平方メートル
■ 構造階数	鉄筋コンクリート造 地上4階建
■ 工事期間	平成25年11月から平成26年3月
■ 設計	株式会社安井建築設計事務所
■ 施工	第1工区 株式会社富国建設 第2工区 株式会社ナカノフドー建設
■ 請負金額	第1工区 1,176,000千円 第2工区 1,358,700千円

○ゆるやかに繋がる施設構成

- ・ 支援学校棟を中央で少しずらすなど、建物全体を適度な長さで分節することで、廊下の長さ感を軽減し、学校全体がゆるやかにつながっていくよう配慮する。
- ・ 独立した各棟をつなぐ部分に昇降口を配置し、明るいガラスの廊下とすることで、空間の切り替えを強く意識した、変化に富んだ施設構成とする。

○圧迫感をやわらげ安心感を与える外観構成

- ・ 小さなグリッドの集合によるファサードや、棟ごとに細かく分けた屋根により、4階建ての建物にヒューマンスケールを与え、建物の大きさ感や圧迫感をやわらげる建物構成とする。
- ・ 切妻屋根により分節化した「群」として建物を構成する。屋根をかけることで、学校を「家」のようにイメージでき、児童生徒に安心感を与えられる施設をめざす。
- ・ 緩やかなR屋根の体育館は、京阪電車の車窓からの特徴的な外観をつくり出す。



- 所在地 泉南市信達牧野
- 敷地面積 30,177平方メートル
- 建築面積 7,602平方メートル
- 延床面積 18,481平方メートル
- 構造階数
- 改修校舎 鉄筋コンクリート造 地上4階建
- 増築校舎 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 地上2階建
- 体育館 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 地上3階建
- プール附属棟 鉄筋コンクリート造 平屋建
- 渡り廊下 鉄骨造 地上2階建
- 工事期間 平成24年8月から平成26年2月
- 設 計 浦辺設計・新日本設備計画設計共同企業体
- 施 工 第1工区：日生建設株式会社
第2工区：共同建設株式会社
- 請負金額 第1工区：437,214千円
第2工区：696,150千円

本計画は旧砂川高校の校地・校舎等を活用し、一部、校舎を増築して小学部・中学部・高等部のある支援学校を整備すると共に、就労を通じた社会的自立をめざす高等支援学校を一敷地に併設することとし、周辺丘陵地の自然を生かす緑をテーマに全体の調和を図ることを設計主旨としました。

既存校舎と体育館の間にL型の増築校舎を配置し、その間に小学部運動広場・ふれあい広場・エントランス広場等の屋外空間を生み出し、全体として屋内外の一体感のつながりを創造しています。また、児童生徒の安全安心に最大限配慮した普通教室の床構造や窓・階段の落下防止の面格子はそれを感じさせない自然なデザインとしています。



- 所在地 摂津市鶴飼上一丁目
- 敷地面積 38,024平方メートル
- 建築面積 2,980平方メートル
- 床面積 10,964平方メートル
- 構造階数 鉄筋コンクリート造 地上4階建
- 工事期間 平成24年3月から平成25年2月
- 設計 株式会社浦辺設計
- 施工 誠信建設工業株式会社
- 請負金額 386,295千円

本支援学校は、知的障がい者を対象とするものであり、小学部、中学部、高等部からなる支援学校と、高等部のみの高等支援学校の2校を併設している。

児童生徒の障がいに対応した安全確保の観点から転落防止等が、必要となるが、開放的な教育施設としての印象が損なわれないように、転落防止柵を設置する窓は、通風、換気用の開閉可能な窓に限定し、それ以外の窓は開放寸法制限(10cm)することにより、転落防止柵の設置を最小限に抑えている。

支援学校と高等支援学校という2つの異なる学校の併設、施設の大部分が元高等学校の校舎の改修利用であり新旧校舎の調和は、表現される構造フレームのプロポーシオンや庇のデザインにおいて各々の個性を表現し、屋根、外壁の色彩において調和と統一感を表現している。また、既存棟の色彩イメージを継承しつつ、新たに生まれ変わる学び舎にふさわしい色彩計画としている。



- 所在地 堺市学園町1
- 敷地面積 474,785平方メートル
- 建築面積 3,415平方メートル
- 延床面積 18,062平方メートル
- 構造階数 鉄筋コンクリート造 地上6階建
- 工事期間 平成15年11月から平成17年3月
- 設 計 株式会社久米設計
- 施 工 浅沼・三星・大日本共同企業体
- 請負金額 3,386,250千円

本施設は持続可能な施設：「フレキシビリティ」、単純明快な施設構成：「シンプル」、経済性に配慮した施設：「エコノミー」、安全な施設：「セーフティー」、環境への配慮：「エコロジー」をコンセプトに、工学系施設の将来に対応する先進性を備えた学舎を実現します。平面中央部の「実験室ゾーン」、東西道路に面した「居室ゾーン」、コーナー部の「準実験室ゾーン」の3つのゾーン区分を図り、それぞれの研究内容に対応する空間を計画しています。

実験室外部面には、バルコニーとオープンシャフトを設け、実験内容へのフレキシブルで高機能的な対応と、維持管理に配慮するとともに、環境負荷低減、地球環境にやさしいエコロジカルな視点を取り入れ、サステイナブル(持続可能)な新学舎をめざして計画しています。